

みなみ公民館だより 11月号

(令和6年11月1日 発行)

編集 蕨市立南公民館 蕨市南町2-23-19

TEL 048-442-4055



No.418



第28回 南町地区生涯学習フェスティバル ～発見と冒険 南公民館50年の歩み～ 11月9日(土)・10日(日)

イベント

- | 9日(土) | 10日(日) |
|--|---------------------------------|
| ・けん玉ショー&体験教室
10時～12時
3階集会室 | ・クイズラリー
10時～無くなり次第終了
1階受付 |
| ・けん玉級認定試験
13時～16時
2階和室 | ・ポッチャ体験教室
10時～12時
3階集会室 |
| ・大正琴体験
10時～12時
3階会議室 | ・つくってあそぼ
10時～12時
2階和室 |
| ・点字サークルあじさいの歩み(点字教室)
10時～16時
2階団体連絡室 | ・3B体操
10時～12時
2階団体連絡室 |
| ・彩の国カルタ体験
10時～12時
2階和室 | ・皿回しで遊ぼう
13時～16時
2階和室 |

みんなで歌おう 昭和歌謡を歌いましょう

9日(土)
開場 14時30分 開演 14時40分
3階集会室

団体発表

9日(土)
開場 13時 開演 13時30分
3階 集会室
【出演予定】あやめ会、一中音楽部、野うさぎ

10日(日)
開場 13時 開演 13時30分
3階 集会室
【出演予定】ポップコーン、フラ・オ・レイ・マカマエ、インド舞踊の会、日本舞踊踊りの会、南町太鼓の会、ハーモニー

イベント(両日)

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| ・喫茶みなみ&みんなの作品展
10時～16時 2階ラウンジ | ・ワラビー君と握手
①10時30分～50分②11時30分～50分 |
|----------------------------------|-------------------------------------|



皆様、ぜひお越しください!



公民館講座



◆県民の日 けん玉教室

日時 11月14日(土) 午前10時～
場所 南公民館 2階ラウンジ
対象 市内の小学生～中学生
定員 20組(先着順)
申込 11月5日(火)～ 電話・メール可



◆おはなしくまさん

日時 11月16日(土) 午後2時～
場所 南公民館 2階和室
内容 絵本の読み聞かせや工作
※今月は「クリスマスグッズを作ろう」です。



◆にこにこ ONE TWO KIDS! (リトミック)

日時 11月7日(木) 午前10時～
場所 南公民館 2階団体連絡室
対象 1歳児・2歳児のお子さんと保護者
定員 8組(先着順)
申込 11月1日(金)～ 電話・メール可



◆0歳児ママのふれあい広場

日時 11月26日(火) 午前10時～
場所 南公民館 2階和室
内容 子どもの健康「歯の話」
定員 10組(先着順)
申込 11月1日(金)～ 電話・メール可
※赤ちゃんの下に敷くバスタオルをご持参ください。



くるみ保育園 ～ミニミニ運動会～

園長 加藤



先月くるみ保育園の運動会（対象が3.4.5歳児）がありました。

乳児クラス（0.1.2歳児）としては、後日ミニミニ運動会を開催することにしました。ホールに集まり「げんきっき体操」をして準備OK！ミニミニ運動会がスタートです。

0歳児はトンネルくぐり。泣いてしまう子もいましたが、担任が「おいで～」と声を掛けると元気にハイハイをして来てくれました。

1歳児は、トンネルと一本橋を先生と一緒にゆっくり渡ってゴール。恥ずかしそうにしている子や先生の手を払って一人で頑張る子もいましたよ。

2歳児は、平均台を一人でチャレンジ。ドキドキしながら足をゆっくり前に進める子やスタスタ歩いて渡る子もいました。最後のゴールのところでは、みんなニコニコでした♡

年長さんも体操やゴールテープ、プレゼント係をしてくれました。

河鍋暁斎記念美術館 2024年11月展覧会

企画展 画鬼暁斎 妖怪画コレクション 展 同時開催 特別展 『暁斎酔画』の世界 展

※新型コロナウイルスの感染防止対策等により、予定が急に変更される場合がありますので、最新の情報は美術館のホームページでご確認ください。 <http://kyosai-museum.jp>

会期：2024年11月1日（金）～12月23日（月）

休館日：毎週火・木曜、毎月26日～末日、年末年始

入館料：一般600円、高校生・大学生500円、小・中学生300円、65歳以上500円

暁斎は数え10歳で入門した駿河台狩野派絵師・前村洞和から「がき（画鬼）」と呼ばれたことから、自ら「画鬼」という印を使ったりしました。第1・2展示室では、「画鬼」暁斎が描いた鬼や骸骨、天狗などの「妖怪画」を中心にご覧いただきます。

また第3展示室では、「なんでも描ける絵師」と言われた暁斎が多彩な画題を描いた絵本『暁斎酔画』から、選りすぐりの場面をパネル展示した特別展を開催しています。

【 今月のお勧め作品 】

美人を送る鬼 暁斎 紙本墨画 下絵

この作品は、暁斎が本画の構図やイメージを考えるために描いた下絵です。

鬼が黒い法衣に奉加帳を提げた破戒僧の姿で、美しい女性に傘を差しかけていることから、現在の滋賀県大津市に置かれた東海道の大津宿で、土産物として売られていた大津絵の画題の、「鬼の念仏」と「傘さす女」を組み合わせ描いたものと思われます。いつもは無慈悲で恐ろしい鬼も美人には弱いと見え、女性に気を遣っている様子が大変ユーモラスな作品です。

